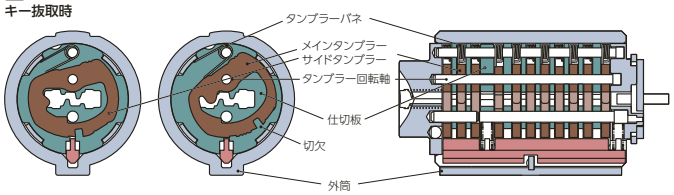
（注）PRシリンダーを装着できる錠前には制限があります。詳細は各製品ページおよびP888の一覧表を参照ください。

■原理

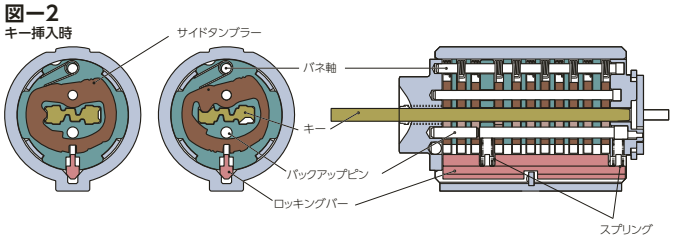
① キーを抜き取った状態では図ー1に示すように、ロッキングバーがスプリングによって外筒の溝に押しつけられています。
また、タンブラーは、タンブラーバネによって押されています。
この状態で内筒を回転させようとしても、(タンブラーの切欠がロッキングバー上方にないため)タンブラーに阻まれて、ロッキングバーは上方へ上がることができず、内筒を回転させることができません。

② 合カギを差し込むと、タンブラーはキーの刻みによって押され、切欠がロッキングバーの上方にくるまで回転・整列します。
この状態で内筒を回転させようとすると、溝とロッキングバーとのテーパーによって、スプリングに抗してロッキングバーが上方に押し上げられ、内筒を回転させることができます。

図ー1
キー抜取時



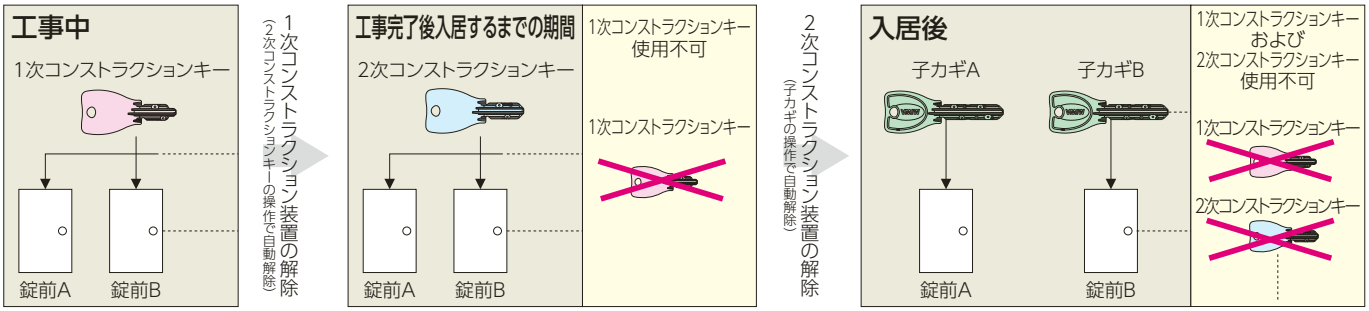
図ー2
キー挿入時



ダブルコンストラクションキーシステム（D.C.N.K.）

工事完了後から入居するまでの間、工事期間中に使用するコンストラクションキーとはさらに異なるコンストラクションキーで建物すべての錠前を施解錠できるシステムです。工事全体で3本付きます。

注）PRシリンダーのマスターキー装置付きの場合は、ダブルコンストラクションキーシステムはできませんのでご注意ください。



セキュリティ認証IDシステム

■ オーナー以外のキー複製をシステム的に防止します。

■ セキュリティを向上させる新システム<セキュリティ認証IDシステム>をご用意しました。
キーの複製には、入居時にオーナーにお渡しするセキュリティカードの認証ID番号と、ご使用の鍵番号の2つを提示して頂きます。この2つの照合確認が取れた場合のみ、ご注文を受付するシステムですので、不正なキーの複製を防止できます。

■オプションとしてご用意しています。

(注1) セキュリティ認証IDシステムはオプション設定となります。設定をご希望される場合は、キープラン登録の際にご指示ください。
(注2) シリンダーをご発注の際は、キー本数の誤りがないようにご注意ください。

セキュリティカード
（製品に同梱）